

プログラム名：～日本の農水産物を効率的に「世界」へ届ける仕組みを学ぶ～ 空の玄関口成田で世界とのつながりを体感する

2

8

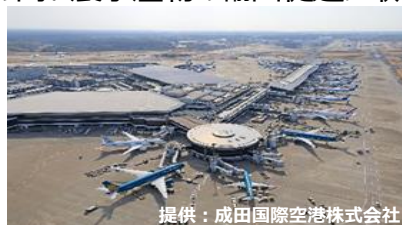
9

プログラムの内容

- ▶ 成田市場（正式名称：成田市公設地方卸売市場）の場内見学を通し、「日本初のワンストップ輸出拠点機能」や立地を生かした効率的な輸出への取り組みを学びます。
- ▶ 普段は入ることのできない成田空港の制限区域での見学も合わせることで、より空港の輸出機能を学ぶことが可能です。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】

- ▶ **ゴール2（ターゲット2.3）**：輸出機能の向上により、日本の農水産物に高い付加価値をつけることで、生産者の生産性、所得等の増加を図る。
- ▶ **ゴール8（ターゲット8.2）**：空港機能を活用した成田市場の輸出の効率化と機能強化により、高いレベルの経済生産性の達成に寄与する。
- ▶ **ゴール9（ターゲット9.1）**：経済発展と日本の幸福をサポートするため、生鮮食料品を地域へ安定的に供給するとともに、海外輸出の要望については成田市場を活用して柔軟に対応し、質の高い農水産物の輸出促進に取り組むことで日本の農水産業の発展に貢献する。



提供：成田国際空港株式会社



提供：成田国際空港株式会社

事前学習

- ▶ 日本の農水産物の輸出、輸入額を調べる。
- ▶ 日本から輸出されている農水産物の品目と輸出先について調べる。
- ▶ 日本の農水産物輸出の課題を調べる。

現地学習

- ▶ 成田市場が輸出の効率化のためにどんな取り組みをしているか学ぶ。
- ▶ 成田市場ではどのような農水産物が取り扱われているか知る。
- ▶ 空港の貨物取扱について体感する。

事後学習

- ▶ 輸出までの手続きについて考えてみよう。
- ▶ 成田市場の輸出の仕組みにはどんな利点があるか、立地と合わせて考えてみよう。
- ▶ 日本の農水産物に高い付加価値をつけて世界に届けるためにはどうすべきか考えてみよう。

プログラムのポイント！



2022年1月20日に開場した成田市場は、「ワンストップ輸出拠点機能」を備えた日本初の卸売市場です！

参考：成田市場 PR動画 <https://youtu.be/qPc1yklByjU>

成田空港の制限区域のツアーでは、間近に航空機や貨物拠点を見ることができ、「世界の玄関口成田」を体感することができます。

受入人数	1グループ40名程度～	対象	小学生・中学生・高校生
受入可能時期 (休業日)	市場は休市日を除く 空港ツアーは定休日なし	1人・1回あたり 料金	市場：無料 制限区域ツアー： バス1台 160,000円～
受入可能時間	要相談	備考 (雨天対応等)	
体験時間	市場見学40分程度～ 空港制限区域見学 90分～120分		

▶ 市場見学のお問い合わせ

名称：成田市場
TEL：0476-37-7018
対応時間：8:30～17:15（平日）
休市日：水曜（不定休）、日曜、
祝日、お盆、年末年始

▶ 空港制限区域見学のお問い合わせ

名称：株式会社グリーンポート
エージェンシー
担当：岩澤、松高
メール：nrt-studytour@gpa-net.co.jp
営業時間：9:00～17:50（平日）

ワーク①

日本の農水産物の輸出、輸入額について調べてみよう。

参考：農林水産省輸出・国際局国際経済課 のデータから調べてみよう。

ワーク②

日本から輸出される農水産物の品目と輸出先について調べてみよう。

ワーク③

日本の農水産物輸出の課題を調べてみよう。

事後学習シート

成田空港・成田市場の機能を整理し持続可能な経済活動について考えよう！

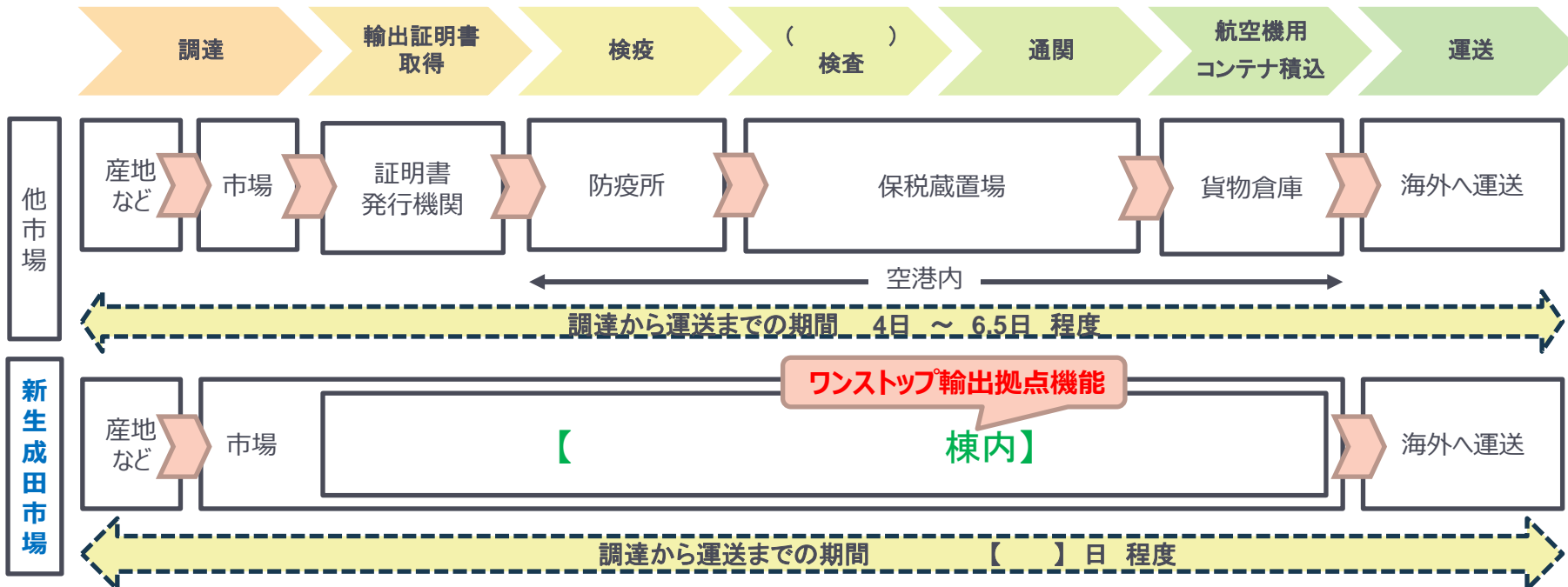
2

8

9

ワーク①

輸出までの手続きについて考えてみよう！



ワーク②

輸出までの手続きに時間がかかるのはなぜだと思いますか？

ワーク③

成田市場の輸出の仕組みにはどんな利点があると思いますか？
成田空港の近くに立地していることも踏まえて考えてみよう。

ワーク④

輸出の仕組みが整えられるとどんな良いことがあると思いますか？

ワーク④

成田空港と成田市場のかかわりについて考えてみよう！
下の図の当てはまる場所に記入して整理してみよう！

成田空港の役割

例：海外旅行の拠点

お互いの役割の 相乗効果

例：県内の農水産物等
の流通拠点

成田市場の役割

ワーク⑤

左に記入したことから読み取れる成田空港と成田市場があることによってもたらされる影響について考えてみよう！

ワーク⑥

日本の価値のあるものを世界に届けるために、将来の成田空港と成田市場はどうかあるべきか考えてみよう！

ワーク⑦

身近な地域の産品を「価値のあるもの」として広く海外に輸出するためにはどのようにしたらいいか考えてみよう。

ワーク⑧

日本の農水産物を海外に輸出することがどう持続可能な社会づくりにつながっているのか事前学習・事後学習を通じてまとめてみよう。